

事業所向け 児童発達支援自己評価

14名中14名回収 (無回答のある項目が複数あり)

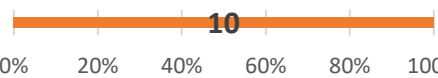
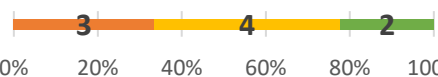
	チェック項目	回答 <span style="color: orange;">■</span> はい <span style="color: yellow;">■</span> どちらとイエない <span style="color: green;">■</span> いいえ	意見
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児が多いと狭いと感じる事がある</li> <li>・日によってスペースが狭い時がある</li> </ul> <p>利用人数や利用児の特性(行動パターンなど)を考慮し、その日その日でベッドやマットの配置換えをしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バギーを利用し、ベッド、床上で過ごす利用児が混在しているため適切であるとは言えないがその日に合わせたスペースの工夫はしている</li> </ul>
	② 職員の配置数は適切であるか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフが足りないと感じる事がある</li> <li>・利用人数が多い時は職員不足の事がある</li> <li>・利用人数や処置内容によりギリギリの時がある</li> </ul> <p>配置数は適切であるが利用児の特性が混在しているため人数的に適切ではない時もある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎や入浴などでフロアに居るスタッフの人数が足りないと感じる時がある</li> </ul>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後更に必要があれば改善していく</li> <li>・ハード面的に全体をバリアフリー化は難しい部分もあるが適切かと言われれば適切ではない</li> </ul>
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々活動内容に合わせて空間を作ったり清潔面でも環境整備に努めている</li> <li>・毎日の清掃を終了後に行っている</li> <li>・物が多くあまり整理整頓されていない</li> </ul>
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く参画はしているがPDCAは回っていないことも多い</li> </ul>
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	

⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会が多くとても良い。ポジショニングの勉強会がとてもよかった</li> <li>・コロナ禍なので研修は難しいが、オンラインなどで参加している</li> <li>・研修や勉強会を積極的に取り入れている</li> <li>・必要な研修を定期的に行い実践できるようにしている</li> </ul>
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観性を高める工夫をもう少し取り入れられると良い</li> <li>・十分なアセスメント・客観的な分析には至っていない</li> </ul>
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	・
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	・意識が薄い時もある
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にミーティングを行い月間予定を立てている</li> <li>・保育士とセラピストで定期的にミーティングを実施している</li> <li>・共有方法や申し送り方法は改善の余地がある</li> </ul>
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にミーティングを行い月間予定を立てている</li> <li>・活動の狙いをはっきりさせている</li> <li>・年の行事・週ごとのテーマを決めている</li> </ul>
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	・毎日集団活動に取り組みそれぞれの子どもたちの個別に合わせた活動をしている
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大まかな事を決めているだけでその場に合わせた思い付きの事もある</li> <li>・活動内容の申し送りが不十分だと感じる事がある</li> </ul>
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来る時と出来ない時がある</li> <li>・終了後の実施は難しいため翌朝のミーティングで振り返りの実施、共有事項については連絡ノートを活用している</li> </ul>

適切な支援の提供

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		・スタッフそれぞれの視点で記録しているがさらに改善していきたい
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		・
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		・
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		・子ども達や保護者の混乱を防ぎ統一された関わりが出来るようにしている
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		・利用児の主治医全員と実際にコンタクトをとるのは現実的に難しい、保護者を通してが多い
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		・該当児がいない、少ない
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		進学の前に小学校の担当者と情報交換を行っている
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		・
	㉘	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		・コロナ禍のため実施不可能 ・感染対策上今は避けている ・重心児のため、感染・移動手手段など様々な問題をクリアしないと実施は難しく困難
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		・感染対策で外部との交流を制限している ・コロナ禍のため実施不可能
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		・連絡ノートや送迎時・面談で行っている
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		・

保護者への説明責任等	③②	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		・
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		・
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は積極的に行える状況ではない</li> <li>・回数は多くは無いがしている</li> <li>・今年度はコロナの事もあり開催はない</li> </ul>
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		・
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか		・
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		
非常時等の対応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にしていない。感染対策上難しい</li> <li>・コロナ禍の為実施できず</li> </ul>
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		・定期的な訓練・シュミレーションをしてマニュアルの見直しもしている
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		・備蓄している
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人による</li> <li>・予防接種の確認はしていなかった</li> </ul>
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		・アレルギーに対する医師の指示書は無いが家族との連絡で対応

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット発生後すぐに書面に残しファイリング、全体で内容を共有している</li> </ul>
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なミーティングなどで子どもたちの人権についての話はしている</li> <li>・虐待防止の研修はあまりなかったので再度実施して欲しい</li> </ul>
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	